

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(昼間部)		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	病理学概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年次		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	濱田 吉之輔	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
病理学を理解する						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験にて記述試験を行う。試験の評価と出席状況を総合的に判断						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
カラーで学べる病理学/ヌーヴェルヒロカワ						
《授業外における学習方法》						
学習課題問題を毎回提示するので次回までに確認・理解をすること						
《履修に当たっての留意点》						
高校までの算数・理科の知識を再確認してください						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	ホメオスタシスを説明することができる。	教科書		解剖生理学を理解しておくこと
		各コマにおける授業予定	ホメオスタシス			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	変性・壊死・アポトーシスについて説明することができる。	教科書		解剖生理学を理解しておくこと
		各コマにおける授業予定	変性・壊死・アポトーシス			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	萎縮・過形成について説明することができる。	教科書		解剖生理学を理解しておくこと
		各コマにおける授業予定	萎縮・過形成			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	再生・化生について説明することができる。	教科書		解剖生理学を理解しておくこと
		各コマにおける授業予定	再生・化生			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	肥大・過形成について説明することができる。	教科書		解剖生理学を理解しておくこと
		各コマにおける授業予定	肥大・過形成			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	塞栓・コラテラルについて説明することができる。	教科書	解剖生理学を理解しておくこと
		各コマにおける授業予定	塞栓・コラテラル		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	ビタミンと疾患について説明することができる。	教科書	解剖生理学を理解しておくこと
		各コマにおける授業予定	ビタミンと疾患		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	抗体について説明することができる。	教科書	解剖生理学を理解しておくこと
		各コマにおける授業予定	免疫(抗体)		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	アレルギーの種類について説明することができる。	教科書	解剖生理学を理解しておくこと
		各コマにおける授業予定	アレルギー		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	炎症について説明することができる。	教科書	解剖生理学を理解しておくこと
		各コマにおける授業予定	炎症		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	感染症について説明することができる。	教科書	解剖生理学を理解しておくこと
		各コマにおける授業予定	感染症		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	代表的な先天疾患を説明することができる。	教科書	解剖生理学を理解しておくこと
		各コマにおける授業予定	先天性疾患(ダウンsyn・ターナーsyn・クラインフェルターsyn)		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	良性・悪性腫瘍の違いを説明することができる。	教科書	解剖生理学を理解しておくこと
		各コマにおける授業予定	腫瘍(良性・悪性)		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	転移のメカニズムを説明することができる。		解剖生理学を理解しておくこと
		各コマにおける授業予定	腫瘍(転移)		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	これまでの講義内容についての総復習と重要項目について説明することができる。		
		各コマにおける授業予定	まとめ1		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(昼間部)		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	病理学概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年次		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	濱田 吉之輔	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
病理学を理解する						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験にて記述試験を行う。試験の評価と出席状況を総合的に判断						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
カラーで学べる病理学/ヌーヴェルヒロカワ						
《授業外における学習方法》						
学習課題問題を毎回提示するので次回までに確認・理解をすること						
《履修に当たっての留意点》						
高校までの算数・理科の知識を再確認してください						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	発生学と病理について説明することができる。	教科書		解剖生理学を理解しておくこと
		各コマにおける授業予定	発生学と病理			
第17回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	代謝疾患について説明することができる。	教科書		解剖生理学を理解しておくこと
		各コマにおける授業予定	代謝疾患			
第18回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	小児・老人の病理について説明することができる。	教科書		解剖生理学を理解しておくこと
		各コマにおける授業予定	小児・老人の病理			
第19回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	消化器の病理について説明することができる。	教科書		解剖生理学を理解しておくこと
		各コマにおける授業予定	消化器の病理			
第20回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	呼吸器の病理について説明することができる。	教科書		解剖生理学を理解しておくこと
		各コマにおける授業予定	呼吸器の病理			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	循環器の病理について説明することができる。	教科書	解剖生理学を理解しておくこと
		各コマにおける授業予定	循環器の病理		
第22回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	腎臓の病理について説明することができる。	教科書	解剖生理学を理解しておくこと
		各コマにおける授業予定	腎臓の病理		
第23回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	これまでの講義内容についての総復習と重要項目について説明することができる。	教科書	解剖生理学を理解しておくこと
		各コマにおける授業予定	まとめ2		
第24回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第25回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第26回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第27回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第28回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第29回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第30回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			